

決議案第 3 号

平成 26 年 3 月 20 日 提出

提出者 松山市議会議員 白石 研 策

丹生谷 利 和

土井田 学

砂 野 哲 彦

松 岡 芳 生

梶 原 時 義

小 崎 愛 子

大 木 正 彦

平成 26 年 3 月 20 日 原案可決

知事が所持するメモと称する松山市に関する行政情報の返還を求める決議について
知事が所持するメモと称する松山市に関する行政情報の返還を求める決議を次のとおり
提出する。

記

知事が所持するメモと称する松山市に関する行政情報の返還を求める決議

我々松山市議会、議員有志は、これ以上、中村知事が隠し持つメモと称する「知事の作文」に振り回されず、目の前のレッグ問題を肅々と解決するため、知事に対して、メモの公開ではなく、本来、松山市が所管すべき公文書たる行政情報として、返還を強く求めるとともに、知事にあっては、市政情報の不正持ち出し疑惑を晴らすため、入手経緯について説明責任を果たすことを求める。

この 2 月県議会において中村知事は、『真実追求の論点をすりかえているのは松山市議会。解明のため、汗をかこうという気持ちが伝わらない。むしろ隠そうとしているのでは。』といった内容の発言をしているが、我々松山市議会としては、問題をすりかえ、原因究明を阻み、真実を闇の中に隠そうとしている知事に対して、そっくりそのまま、この言葉を返すものである。

再確認するが、混迷を極めるレッグ問題について、業者による埋め立て超過を 2 度も見逃したのは誰か。議員関与等の調査を理由に、県費を支出しないと発言したのは誰か。今でもメモを隠し続けるのは誰か。そして何より、愛媛県から引き継ぎ、問題が深刻化するまでの 10 年以上にわたり、監督者・松山市長という最も身近な立場から、遮水シートの

破損や汚染水流出との関係が指摘される転圧後の埋め立て許可など、問題発生に深く関わる行政許可や指導、さらには、業者とのやり取りなどを通じて、全ての経緯を見続け、事の顛末を一番知り、その期間の行政責任を負っているのは誰か。

中村知事は、自分が市長時代に監督した平成11年5月から平成22年11月までの11年6ヶ月の間、レッグ問題に関する許認可権限を持つ監督者として、管轄してきた結果が今のような大問題に発展したことを忘れてはならないし、また、問題の核心となっている自分が市長時代に行った不適切な行政対応について、多額の負担を強いられる松山市民、愛媛県民に対して、一刻も早く説明責任を果たすべきである。

今議会において、第三者機関である松山市廃棄物処理施設審議会から『適切な時期に法的拘束力のある行政処分を行うべきであり、行政として対応が十分でなかった。』との指摘があったことを野志市長は認めている。

また、中村知事は2月県議会で『松山市は、レッグに対して7回の行政措置命令を出し続け、1回目は従ったが、2回目からは、一切応じることはなく、結果としてレッグ問題が起こった。』と発言している。

これら市長と知事の発言は、監督者である当時の松山市長は、許可取り消しなどの法的拘束力のある行政処分を行う立場にあったにもかかわらず、適切な時期に対応せず、更には、命令に応じないことを承知しておきながら、業者に対して、機械的に7回もの行政措置命令を出し続けた結果、現在の深刻な問題に発展したこと、すなわち、中村知事が市長時代に行った不十分な行政対応が原因となり、問題が深刻化した、まさに人災であることを認めたことになる。

この不十分な行政対応などを認めた事実は、今後、問題解決とあわせ、真実究明と責任追及を行うべき立場にある我々市議会と松山市長にとっては、重大なターニングポイントを迎えたことになる。

繰り返すが、レッグ問題は、当時の松山市長の不適切、不十分な行政対応が原因となり、ここまで問題が深刻化した人災である事実が明白になったのである。

昨年4月、「議員がうごめいていた。」との知事発言を発端に、議員関与にばかり目をそらされ、早くも1年近く経過している。

不十分な行政対応の事実について、当事者自らが認めた以上、松山市政の一翼を担う我々市議会としては、不安を感じながら生活が続ける松山市民の心情を第一に考え、目前の廃棄物と汚染水対策について早急に着手し、あわせて、人災の可能性が極めて高いレッ

グ問題の真実解明、すなわち、発生原因と責任の所在の明確化について、鋭意取り組まなければならない。

そのためにも、レッグ問題の発生とは全く関係が無いことを認めながら、未だに固執し続ける議員関与や圧力、また、根拠の無い誹謗中傷・責任転嫁など、問題解決、真相解明に向けた取り組みに支障となっている知事による不可解な言動に終止符を打ち、更には、知事による市政への不当介入に歯止めをかけるため、混乱の元凶であり、これら問題の本質とかけ離れた議論の根拠ともなり、自らが存在を発表しておきながら、未だに公表しないという不自然極まりない知事主張のメモについて、返還を要求し、もって、松山市議会として、早急な問題解決と真実究明を願う松山市民の強い要望に応えるものである。

以上のとおり決議する。